

地盤工学会関東支部 防災・減災のための地盤構造物の設計・施工法に関する研究委員会
平成 22 年度 第 2 回委員会 議事録

日時：平成 22 年 10 月 29 日（金） 15:00-17:30

場所：地盤工学会 3 階会議室

出席者：宮田委員長，高橋，枝広委員，岡島委員，小浪委員，平野委員，森川委員，藪委員

欠席者：河野委員，篠田委員，本田委員，松本委員，松島委員

（議事録：高橋）

配布資料

資料 1：平成 22 年度第 1 回委員会の議事録（案）

資料 2 - 1 ~ 2：Geo 関東（関東支部発表会）での委員会活動の報告に関する資料

資料 3 - 0 ~ 8：各構造物の性能の考え方，耐災診断法・評価法等を整理した資料

資料 4 - 1：今後の進め方について（枝広委員）

議事

1. 前回委員会の議事録の確認

資料 1

- ・ 高橋より，前回議事録案について説明があった。
- ・ 片田委員より事情により委員会に参加できなくなったため辞任したいとの申し出があり，これを了承した旨，宮田委員長より報告があった。

2. Geo 関東（関東支部発表会）での委員会活動の報告について

資料 2

- ・ 高橋より，11 月 4~5 日に大宮ソニックシティで開催される支部発表会資料（1 ページの概要と発表用パワーポイント）について紹介があった。特に発表用パワーポイントについてご意見・コメント等があれば，開催日までに宮田委員長，若しくは，高橋に連絡のこと。

3. 各構造物の性能の考え方，耐災診断法・評価法等を整理結果について

資料 3

- ・ 各構造物の性能の考え方，耐災診断法・評価法，対策等について，とりまとめて頂いた各委員に説明頂いた。その際に出た主な質問・コメント等は以下の通り。
- ・ 道路擁壁，盛土
 - 性能 2 と 3 の明確な違い（計算上の分けや，照査値の違い）はあるのか？
→実際にはない。
 - 復旧は時間とコストが重要だが，どのように考えているのか。
→崩壊規模と復旧までの時間を調べたが，明確な相関はなかった。管理者の機動性とかのほう
が効いていた。
 - 復旧に要する時間の規定はないのか。
→それぞれの管理者が決めるべきであることから，明記していない。重要度の決定に配慮すべき点（ネットワークとしての機能等）については触れている。
 - 盛土の許容変形量は明記されていないようだが。
→管理者が決めること。
 - これまでの設計でできた土工の性能を明記したというのが，今回の改訂の特徴。
 - 降雨のレベルは考えないのか？路面が冠水するようなもの，ゲリラ豪雨のようなものとか。

→特に規定していない。排水溝等に対しては考慮すべき降雨強度は決まっているが、それ以外はない。規定の排水工をちゃんと入れてもらう、というのが趣旨。

- 道路切土

- 性能設計にはなっておらず、仕様設計的。
- (切土に対して、というよりは、今回の整理全般について)どこまで細かいところを見るのか。たとえばアンカーでもいろいろな部品がある。
→あまりやりすぎず、必要に応じて。
- 同じ土工指針でも、盛土などとまったく違う。
→自然斜面などを相手にしているので、仕様設計的になった。
- 7つの性能は、その性能が満足されているか確認できない・確認しないのであれば、これらを書くべきではないのでは。
→留意事項としてとらえていただきたい。

- 宅地

- 擁壁は中規模地震に対して5m以下を対象に照査することになっているが、正しいか。
→5m以下は常時と中地震、5m以上は常時と大規模地震を対象に照査することになっている。
- 大地震で液状化する場合は購入者に公開するとなっているが。
→中層住宅などは、実施にそうしている。戸建ては実績がないかもしれない。
- 既設宅地の性能照査を円弧すべり法などで行うことはあるのか？
→今のところない。これまでURが作った場所は兵庫県南部地震でも被害はなかったため。

- 道路橋

- 港湾

- 物によっては部分係数がすべて1になっている(以前のものと同一となるように)ようだが、大丈夫か。現在より必ず厳しくなるが。
- 1週間で直る損傷ってとは、どの程度の損傷を指しているのか。
→具体的な例示は出来ないが、復旧期間について実際に検討した事例はある。仙台空港など。

5. その他

- (時間が不足していた為と、出席頂いた委員が少なかったため)全ての各委員に調査内容をご披露いただけなかった。上記までで、おおよそ半分が終了したので、残りを次回委員会時(早めに開催)にご披露頂き、委員会活動の今後について、議論することとなった。
- 次回委員会の日程は、今回参加されなかった方が参加しやすいよう、複数の日にちを設定して、日程調整することとなった。時間・場所は今回と同じで、候補日は以下の通り：
 - 第一希望：12月08日(水)
 - 第二希望：12月20日(月)
 - 第三希望：12月22日(水)
 - 第四希望：12月06日(月)

以上